



社会福祉法人 恩賜 济生会和歌山病院

〒640-8158 和歌山市十二番丁45番地

TEL. 073-424-5185

FAX. 073-425-6485

ホームページ: <http://www.saiseikai-wakayama.jp/>



～理念～

私たちは、地域社会に親しまれ、信頼され、患者さんも職員も元気が出る病院をめざします。

～基本方針～

1. 急性期医療を基本に機能と特性を明確にする。
2. 患者さんの立場に立って、安全で質の高い医療を効率的に提供する。
3. 透明性、公共性を保ち、地域社会と連携を密にし、地域から求められる病院にする。

濟生会

わかやま

NEWS

第35号

発行日: 2017.11

患者さんの権利と責務

1. 平等に良質で適切な医療を受ける権利があります。
2. 医療に際して十分な説明を受ける権利があります。
3. 検査・治療等に際してそれを受ける事を自己の判断のもと承諾あるいは、拒否する権利があります。
4. 医療のどの段階においても他の医師や医療機関の意見を求める権利があります。
5. 自己の病状について情報を得る権利があります。
6. 自己の病状について個人的情報の秘密を守られる権利があります。
7. 医療に関する苦情を申し立てる権利があります。
8. 良質な医療を実現するために、自己の健康状態に関する情報を正確に伝える責務があります。
9. 治療費を支払う責務があります。
10. 良好な療養生活を守るために、定められた諸規則を守る責務があります。
11. 医師・看護師や病院職員の指示に従う責務があります。

— Information —

事務部長 吉澤 有希子



本年7月20日より、事務部長の職を拝命いたしました。皆様何卒よろしくお願ひいたします。

厚生労働省は2025年にむけて、「限られた医療資源・介護資源を地域単位で連携させて乗り切る」と打ち出しました。これは超高齢化社会の到来に向けた大改革の指針であります。

流れは、「病院完結型」から「地域完結型」へと転換していきます。

濟生会和歌山病院としては、和歌山保健医療圏における中核病院としての役割を果たす為に、各医療機関様との連携・ネットワークの強化を、今以上に図っていきたいと存じますので、今後共ご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

「私たちは、地域に親しまれ、信頼され、患者さんも職員も元気が出る病院を目指します。」
が濟生会和歌山病院の理念であります。

昭和56年に濟生会和歌山病院の門をたたき採用されて以来、私自身の非力を皆さんに支えていただきながら、何とか今までやってくることが出来ました。皆様に感謝しつつ、その中で私の目指すべき道は正にこの理念の方向であると感じてあり、患者さんの元気は病院の明るい雰囲気に起因すると言っても過言でないと思います。患者さんの元気のためにも働きやすさと働きがいのある職場を目指し、職員皆さんも元気が出るよう、皆さんの協力を得ながら、誠に微力ではありますが、精一杯頑張っていくつもりでありますので、皆様方のお力添えを賜りたいと思ってあります。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

~ Topics ~

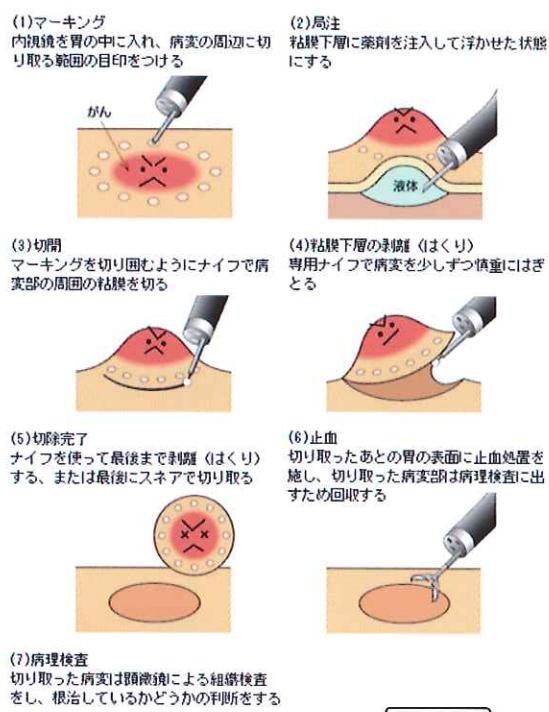
消化器内科 河野 尚宏

平素より支援を賜り、誠に有難うございます。

済生会和歌山病院消化器内科では、癌の早期発見・治療を目標としており、その治療の中でもより低侵襲で効果の高いESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）を積極的に行ってています。

当院では早期胃癌に対するESDを実施しております。早期癌の治療として標準的に選択される術式の一つです。今回はESDについて、紹介させていただきます。

【ESDの手技】



【適応〈胃〉】

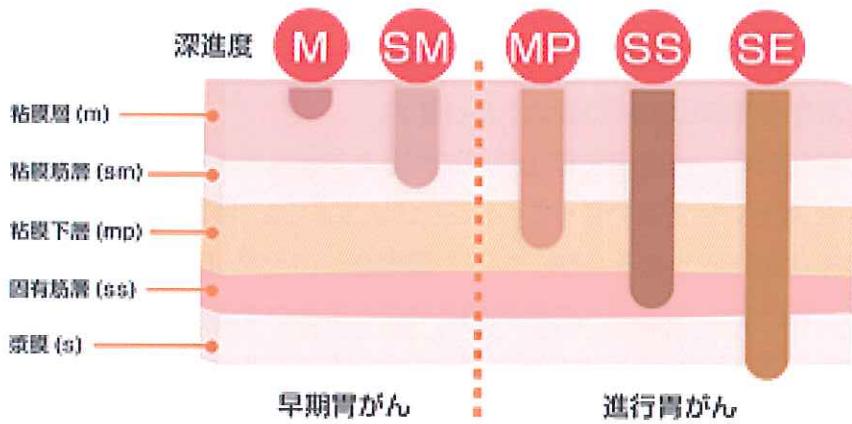
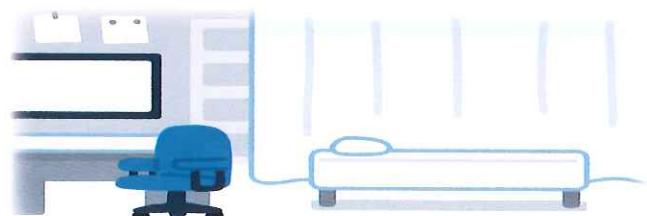
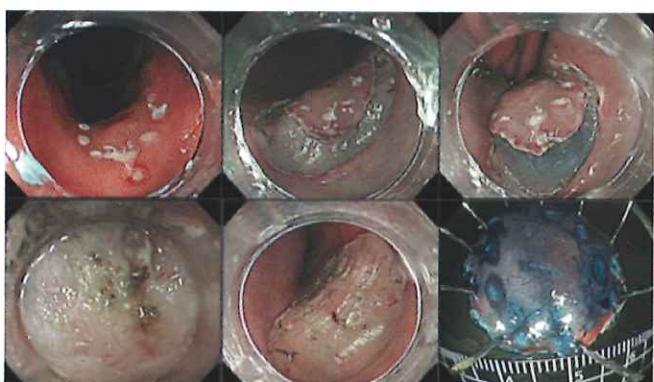
絶対適応病変は、2cm以下の肉眼的粘膜内癌(cT1a)と診断される分化型癌。肉眼型は問わないが、UL(-)に限定されます。また、適応拡大病変は、①2cmを超えるUL(-)のcT1a, 分化型癌、②3cm以下のUL(+)のcT1a,分化型癌、③2cm以下のUL(-)のcT1a,未分化型癌。これらについては脈管侵襲(Iy, v)がない場合にはリンパ節転移の危険性が極めて低く、適応を拡大してよい可能性があります。初回のESD/EMR時の病変が適応内病変で、その後に粘膜内癌で局所再発した病変であれば、適応拡大病変として取り扱うことが可能です。(胃癌に対するESD/EMRガイドラインより)

診断技術の発達により、癌の早期発見が可能となった今日、より迅速で負担の少ない治療が求められています。低侵襲な治療で患者様のQOLを維持・把握しながら、地域の医院の先生方とともに患者様の状態をフォローしていくければと考えてあります。

今後共より一層のご支援を賜ります
よう心よりお願ひ申し上げます。

従来の方法であるEMR(内視鏡的粘膜切開術)では、切除できる病巣のサイズに上限があり、病巣の大きな場合は分割して切除せねばならならず、病巣が残存したり、正確な手術が難しいという欠点がありました。

しかし、ESDにより、患者様の臓器をほぼ温存し、病巣の一括切除が可能になりました。入院期間は1～2週間程度です。



～ 赴任のお知らせ～



糖尿病代謝内科
山本 昇平 医師

9月から赴任しました、糖尿病代謝内科の山本 昇平(ヤマモト ショウヘイ)と申します。糖尿病を中心とした一般内科の疾患に対する治療にあたさせていただきます。微力ながら地域医療に貢献するため日々精励する決意です。今後とも宜しくお願いいたします。



循環器内科
橋本 晶子 医師

10月に赴任いたしました、循環器内科 橋本 晶子(はしもと あきこ)と申します。

高血圧をはじめ、心血管疾患を中心に幅広く診療にあたさせていただいております。

患者さんの立場に立って、安全で質の高い医療を目指し日々精進して参りますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

～ 登録医総会開催について～

地域医療連携室室長 重里 政信

7月29日(土)に第9回済生会和歌山病院登録医総会をダイワロイネットホテル和歌山にて開催しました。

今回は、新任の吉澤事務部長を筆頭に、廣瀬看護部長、河原副看護部長、病棟師長も参加し、登録医の先生方と色々なお話をさせていただきました。

非常に有意義な時間を過ごせることができ、感謝しております。

特別講演では、和歌山県立医科大学付属病院 心臓血管外科・呼吸器外科・乳腺外科教授 西村 好晴先生にお越しいただき “高齢者に多い大動脈弁狭窄症—外科治療の新たな展開—” というテーマで講演をしていただきました。世界の最先端の医療が和歌山で始まっていることに感銘を受けました。

今後も先生方と『顔の見える連携』に努めて参りたいと存じますので、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



西村先生の講演

～ 地域医療連携室からのお知らせ～

和歌山東臨床研究会の開催日が決定しましたのでお知らせ致します。

平成30年1月27日(土)15時～ダイワロイネットホテル和歌山にて開催予定です。

今回は、和歌山県立医科大学附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科教授 保富 宗城先生に特別講演講師としてお越しいただく予定となっていますので、先生方のご参加を心よりお待ちしております。

また、人事異動により10月1日付でスタッフが変わりましたので併せてお知らせ致します。

新たなスタッフと共に、今まで以上に『顔の見える連携』に努めて参りたいと存じますので、今後共ご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。



済生会和歌山病院外来診療予定表

(平成29年12月1日現在)

| 区分 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-------------|--------|--------|------------|--------|------------|
| 内科 消化器内科 | 山原 邦浩 | — | 山原 邦浩 | 河野 尚宏 | 川口 雅功 |
| | 河野 尚宏 | — | 川口 雅功 | — | — |
| | — | — | — | 応援医師 | — |
| 糖尿病代謝内科 | 山本昇平 | 英 肇 | 荒古 道子 | 英 肇 | 荒古 道子 |
| | — | — | — | — | 大鹿 裕之 |
| 循環器内科 | 尾鼻 正弘 | 大鹿 裕之 | 尾鼻 正弘 | 橋本 晶子 | 橋本 晶子 |
| | 田中 稔之 | 田中 稔之 | 仲 寛 | 仲 寛 | ▲林 靖二/山家弘雄 |
| 脳神経外科 | 三木潤一郎 | — | 廣瀬 洋子 | 三木潤一郎 | — |
| | — | 高垣 有作 | — | — | — |
| 外科 | 重里 政信 | 奥 あや | 重里 政信 | — | 中村 恵子 |
| | — | — | ストーマ外来 | — | — |
| 心臓血管外科 | 畠田 充俊 | — | 栗山 雄幸 | 栗山 雄幸 | 畠田 充俊 |
| 整形外科 | 太地 良 | 中村 奎太 | 新患診 | 松崎 交作 | 岡田 紗枝 |
| | 岡田 紗枝 | 山崎 悟 | | 山崎 悟 | 中村 奎太 |
| | 西山 大介 | — | | 西山 大介 | — |
| リハビリテーション科 | 湯田 啓之 | 湯田 啓之 | 医大応援医師 | 湯田 啓之 | 湯田 啓之 |
| 耳鼻咽喉科 | 中嶋 宏児 | — | グンデウズ メーティ | — | — |
| 腎センター | — | — | — | 岡本 昌典 | — |
| 眼科 | 医大応援医師 | 医大応援医師 | — | 医大応援医師 | 医大応援医師 |
| 皮膚科 | 上中 智香子 | — | — | 山本 有紀 | — |
| 泌尿器科 | — | — | 上野 駿 | — | 柏本 康夫 |

※外科、高垣有作はリンパ浮腫外来となります。

【受付時間】 午前（全科） 8時30分～11時00分（但し、予約患者は除く）

*腎センターは木曜日午後 保存期外来を実施。

*月曜日午後1時から予約制で禁煙外来を行っています。

*水曜日はストーマ外来を実施しています。

（予約制・初診の方は紹介状が必要です）

▲金曜日の脳神経外科は毎月第2週目のみ山家先生に診察医が変わります。

*当院では予約診療を行っているため、予約無しで来院された場合は、紹介状を持参されていてもお待ち頂くことがございますのでご了承ください。

ご紹介の際は患者さんの待ち時間短縮の為にもご予約をお取り下さいます様お願いいたします。

診療案内

診察日：月～金曜日

受付時間：午前8時30分～午前11時（但し、予約患者はこの限りにあらず）

休診日：土・日・祝祭日（年末年始）

面会時間：月～金曜日 午後2時～午後7時 土・日・祝祭日 午前10時～午後7時



交通案内

●JR和歌山駅から和歌山バス約10分「京橋」下車、徒歩すぐ

●南海和歌山市駅から和歌山バス約5分「京橋」下車、徒歩すぐ



地域医療連携室

TEL (073) 424-5186 FAX (073) 424-5187